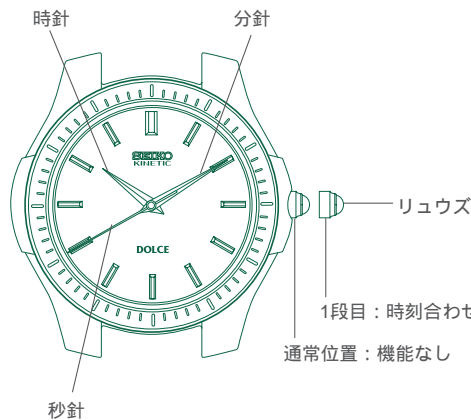


製品の特徴

一般のクォーツ式腕時計はボタン電池で動きますが、セイコーKINETICは“時計を振る”ことによって内蔵された発電機が回され、発電した電気をキネティックE.S.U.（「製品仕様」参照）に蓄えて時計を動かすというSEIKO独自の機構を持ったクォーツ時計です。従って、電池交換の必要はありません。フル充電で1ヶ月間以上動き続けます。

各部の名称とはたらき



注意

- あなたの腕の動きを電気に変換して蓄える方式です。静止したままでは充電されません。
- 目安として一日10時間以上の携帯をおすすめします。
- 充電量が残り少なくなると、秒針が一度に2目盛りずつ運針（以下＜2秒運針＞と略します）してお知らせします。「充電のしかた」をよくお読みになって充電してください。

電池についてのお願いとご注意

電池について

この時計は一般の電池の代りに専用のキネティックE.S.U.（「製品仕様」参照）を電源として使用していますので、電池交換は不要です。このキネティック E.S.U.（「製品仕様」参照）は、水銀等の有害物質をいっさい含まない、環境にやさしいクリーンなエネルギー源です。

警告

破裂、発熱、発火などの恐れがありますので、一般の銀電池は絶対に組み込まないようご注意ください。

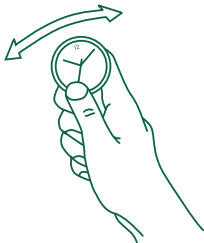
時計を保管する際、リュウズを引き出して運針を止めてもIC制御の電流が消費されるため、充電量（持続時間）の維持はできませんのでご注意ください。

ご使用に当たって 充電のしかた

- 止まっている時計（KINETIC）を動かす場合や、充電量が少なくなった場合に行ってください。

お買い上げ後初めて動かす場合や長時間放置した後で動かす場合、時計を下図のように矢印の方向に、1秒間に2往復のリズムで約300～400回（往復）振ってください。（手振り）約半日（12時間）の蓄えができたこととなります。この時、秒針の動きは2秒運針から通常の1秒運針になります。

このモデルはキネティックE.S.U.（「製品仕様」参照）の特性から上記（お買い上げ後初めて動かす場合や長時間放置した後）以外では約120～150回で約半日（12時間）の蓄えができたこととなります。



1秒間に2往復の早さで、約20cm位の距離を往復させるように振っていただくと、最も効率的です。極端に早く激しく振っても効率の良い充電はできません。この時計はフル充電で「1ヶ月」以上の充電量が得られますが、ご使用前にフル充電していただく必要はありません。フル充電状態でさらに充電しても、過充電防止機能が働きますので、安心してお使いいただけます。

上手な携帯をするために（充電量のめやす）

この時計には「エネルギー切れ予告機能（2秒運針）」があります。この機能は、12時間以内に時計が止まる可能性があることをお知らせするものです。従って充電量を知るためには、普段の携帯状況から予測することとなります。

< 普段の形態時間（日数）と充電量の関係について >

1日携帯（10時間以上携帯）で、約24時間（約1日）分の追加充電が可能とお考えください。

ただし、携帯の状態によっては個人差により24時間分の充電が確保されない場合もございますのでご注意ください。

例1．毎週月曜日～金曜日の週5日間の携帯が基本となる方の場合、金曜日には、+5日分の充電ができたこととなりますが、2日間携帯しないので、その差の+3日分が、1週間でプラスとなる充電量になります。

よって、5週間では15日程度（約半月）の充電量が、また10週間でフル充電の1ヶ月程度の充電量が確保できるとお考えください。

例2．ほとんど毎日携帯される方の場合

1日10時間以上の携帯を焼く1ヶ月間続けると、フル充電の1ヶ月程度の充電量が確保できたとお考えください。

< 形態時間（日数）が少ない方へ >

・前項の「例1」や「例2」のように携帯せず、携帯する日数よりも外しておく日数が多い方

・普段は保存しておき、必要な場合のみ携帯する方

このような方の場合、携帯しようと思った時には、時計は止まっていることが多いはずですが、

基本的には「充電のしかた」に従い、手振りによる充電をしてから携帯することとなります。

2秒運針になったら（秒針が一度に2目盛りずつ運針する状態）

携帯中もしくは置いてある時計の秒針が一度に2目盛りずつ運針する状態になると、数時間以内に止まる可能性があります。「充電のしかた」をご参照の上、充電をしてください。

2秒運針中でも時刻表示は正確です。

2秒運針開始後の持続時間は、その時計が2秒運針になるまでの使用条件によって異なります。

使用条件	2秒運針開始後の持続時間
短期間（数時間～数日間）の使用の後、2目盛りずつ運針する状態になった場合	約5～12時間
長期間（1週間以上）の使用の後、2目盛りずつ運針する状態になった場合	約12時間以上

ご使用条件については「上手に携帯するために（充電量のめやす）」をご参照ください。

ルミブライトについて

【お買い上げの時計がルミブライトつきの場合】

「ルミブライトは、放射能等の有害物質を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。」ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間（10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約3～5時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させているので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

照明データ（目安値）

Ⓐ 太陽光（晴天）100,000ルクス〔曇天〕10,000ルクス

Ⓑ 屋内（昼間窓際）〔晴天〕3,000ルクス以上

〔曇天〕1,000～3,000ルクス〔雨天〕1,000ルクス以下

Ⓒ 照明（白色蛍光灯40Wの下）〔1m〕1,000ルクス

〔3m〕500ルクス（通常室内レベル）〔4m〕250ルクス

時刻の合わせかた

秒針が、ちょうど「0秒」の位置に来たとき、リュウズを引き出してください。



充電をして秒針が通常運針になってから「時刻合わせ」をします。時計が止まっている場合や2秒運針をしている場合は、充電してから時刻合わせをしてください。

リュウズを左に回し時刻を合わせます。



（「充電のしかた」を参照）

合わせた時刻の時報を待ち、時報と同時にリュウズを押し込んでください。



*クォーツ時計は機械時計と機構が異なりますので正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆にもどして合わせてください。

*時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。